

「県の広報活動に関するアンケート調査」結果

県の行う広報活動について、県民の皆さんの意見を把握し、より一層充実した内容としていくため、県政モニターによるアンケート調査を実施しました。

※集計結果の%表示は、小数点以下第2位を四捨五入してあるので、合計が100%にならない場合があります。

◇アンケート調査の実施時期 平成27年11月

◇県政モニター数

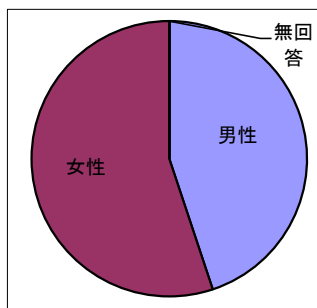
(1)郵送	333人
(2)インターネット	65人
合計	398人

◇回答数

		回答率
(1)郵送	273人	82.0%
(2)インターネット	30人	46.2%
合計	303人	76.1%

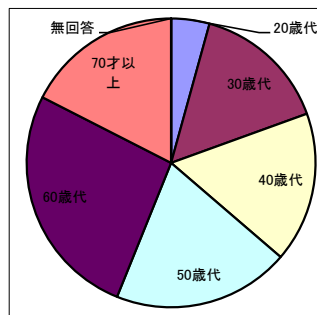
【問1】回答者の性別

	人数	比率
男性	136名	44.9%
女性	167名	55.1%
無回答	0名	0.0%
計	303名	



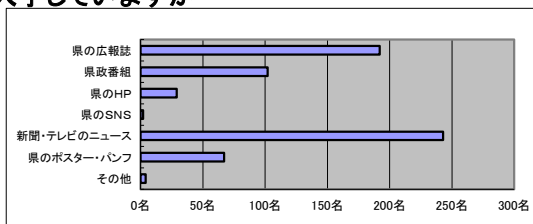
【問2】回答者の年齢

	人数	比率
20歳代	13名	4.3%
30歳代	46名	15.2%
40歳代	51名	16.8%
50歳代	60名	19.8%
60歳代	80名	26.4%
70才以上	53名	17.5%
無回答	0名	0.0%
計	303名	



【問3】普段、どのような手段で県からの情報を入手していますか

	人数	比率
県の広報誌	192名	63.4%
県政番組	102名	33.7%
県のホームページ	29名	9.6%
県のツイッター・フェイスブック	2名	0.7%
新聞・テレビのニュース	243名	80.2%
県のポスター・パンフレット	67名	22.1%
その他	4名	1.3%

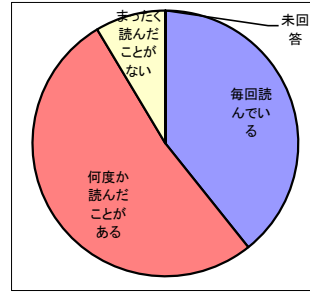


◇「ふれあい」特集号について

【問4】「ふれあい」特集号をご覧になったことがありますか

	人数	比率
毎回読んでいる	119名	39.3%
何度が読んだことがある	158名	52.1%
まったく読んだことがない	26名	8.6%
未回答	0名	0.0%

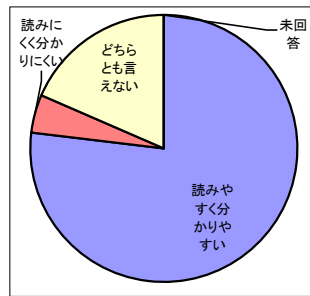
※比率は全回答者303人に対する率



【問5】「ふれあい」特集号をご覧になって
どのような感想を持ちましたか

	人数	比率
読みやすく分かりやすい	233名	76.9%
読みにくく分かりにくい	14名	4.6%
どちらとも言えない	56名	18.5%
未回答	0名	0.0%

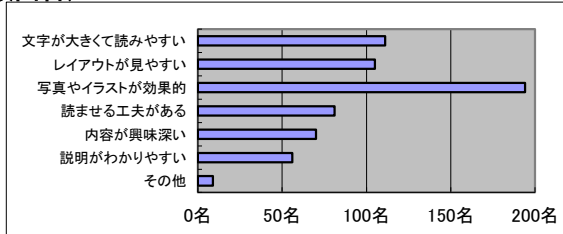
※比率は全回答者303人に対する率



【問6】読みやすいと感じた主な理由は何ですか(複数回答)

	人数	比率
文字が大きくて読みやすい	111名	47.6%
レイアウトが見やすい	105名	45.1%
写真やイラストが効果的	194名	83.3%
読ませる工夫がある	81名	34.8%
内容が興味深い	70名	30.0%
説明が簡潔でわかりやすい	56名	24.0%
その他	9名	3.9%

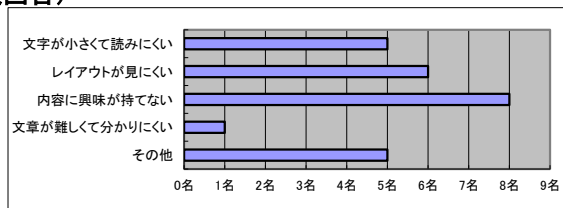
※比率は読みやすいと回答した233人に対する率



【問7】読みにくいと感じた主な理由は何ですか(複数回答)

	人数	比率
文字が小さくて読みにくい	5名	35.7%
レイアウトが見にくい	6名	42.9%
内容に興味を持たない	8名	57.1%
文章が難しくて分かりにくい	1名	7.1%
その他	5名	35.7%

※比率は読みにくいと回答した14人に対する率

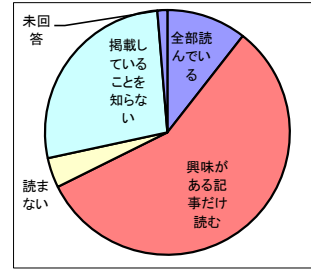


◇「ふれあい」月間号について

【問8】「ふれあい」月刊号を読んだことがありますか

	人数	比率
全部読んでいる	32名	10.6%
興味がある記事だけ読む	173名	57.1%
読まない	12名	4.0%
掲載していることを知らない	82名	27.1%
未回答	4名	1.3%

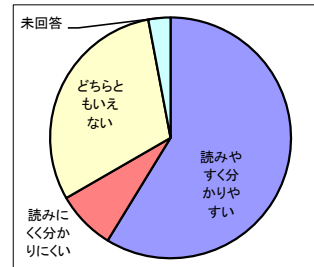
※比率は全回答者303人に対する率



【問9】「ふれあい」月刊号をご覧になったご感想をお聞かせください

	人数	比率
読みやすく分かりやすい	178名	58.7%
読みにくく分かりにくい	24名	7.9%
どちらともいえない	92名	30.4%
未回答	9名	3.0%

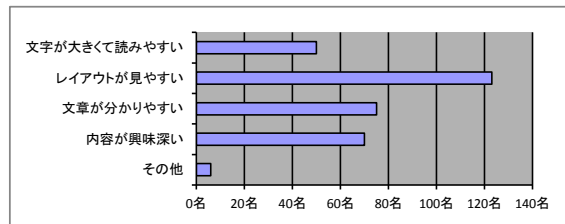
※比率は全回答者303人に対する率



【問10】読みやすく分かりやすい感じた主な理由は何ですか(複数回答)

	人数	比率
文字が大きくて読みやすい	50名	28.1%
レイアウトが見やすい	123名	69.1%
文章が分かりやすい	75名	42.1%
内容が興味深い	70名	39.3%
その他	6名	3.4%

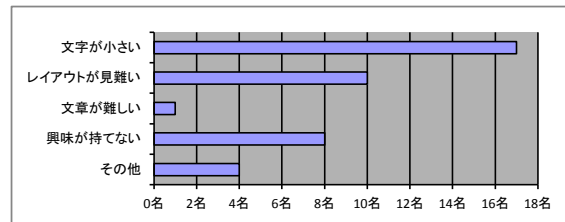
※比率は分かりやすいと回答した178人に対する率



【問11】読みにくく分かりにくかったと感じた主な理由は何ですか(複数回答)

	人数	比率
文字が小さくて読みにくい	17名	70.8%
レイアウトが見にくい	10名	41.7%
文章が難しい	1名	4.2%
内容に興味がない	8名	33.3%
その他	4名	16.7%

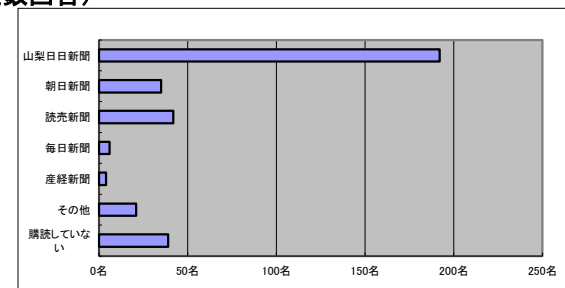
※比率は分かりにくいと回答した24人に対する率



【問12】あなたが、購読している新聞は何ですか(複数回答)

	人数	比率
山梨日日新聞	192名	63.4%
朝日新聞	35名	11.6%
読売新聞	42名	13.9%
毎日新聞	6名	2.0%
産経新聞	4名	1.3%
その他	21名	6.9%
購読していない	39名	12.9%

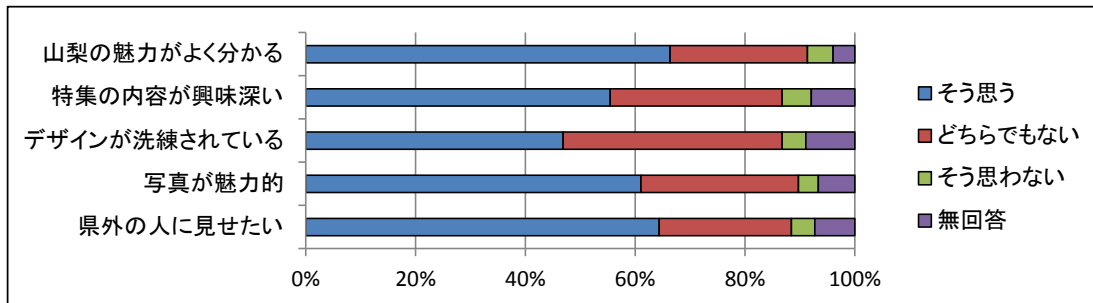
※比率は全回答者303人に対する率



◇「山梨てくてく」について

【問13】「山梨てくてく」についてどのような感想を持ちましたか

	そう思う	どちらでもない	そう思わない	無回答
山梨の魅力がよく分かる	201名	76名	14名	12名
特集の内容が興味深い	168名	95名	16名	24名
デザインが洗練されている	142名	121名	13名	27名
写真が魅力的	185名	87名	11名	20名
県外の人に見せたい	195名	73名	13名	22名



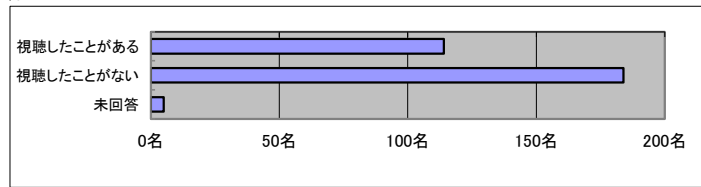
※比率は全回答者303人に対する率

◇広報番組について

【問15】県の広報番組を視聴したことがありますか

	人数	比率
視聴したことがある	114名	37.6%
視聴したことがない	184名	60.7%
未回答	5名	1.7%

※比率は全回答者303名に対する率

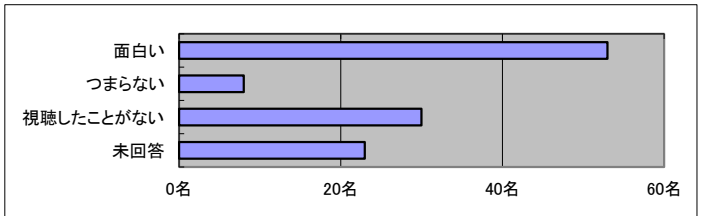


【問16】視聴した番組の感想

〈わくドキやまなし〉

	人数	比率
面白い	53名	46.5%
つまらない	8名	7.0%
視聴したことがない	30名	26.3%
未回答	23名	20.2%

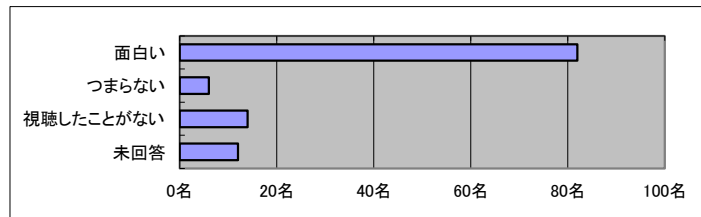
※比率は視聴したことがある114名に対する率



〈山梨いまじん〉

	人数	比率
面白い	82名	71.9%
つまらない	6名	5.3%
視聴したことがない	14名	12.3%
未回答	12名	10.5%

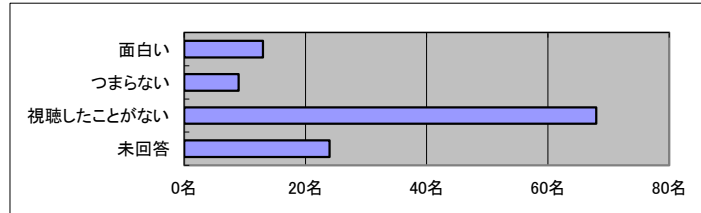
※比率は視聴したことがある114名に対する率



〈県政情報発信番組〉

	人数	比率
面白い	13名	11.4%
つまらない	9名	7.9%
視聴したことがない	68名	59.6%
未回答	24名	21.1%

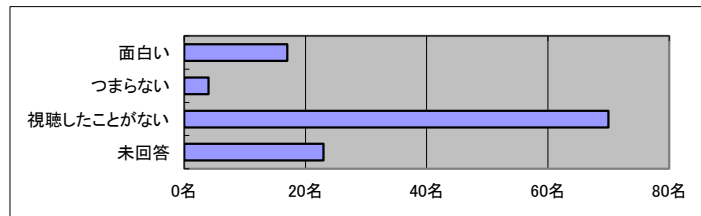
※比率は視聴したことがある114名に対する率



〈やまなしINDEX〉

	人数	比率
面白い	17名	14.9%
つまらない	4名	3.5%
視聴したことがない	70名	61.4%
未回答	23名	20.2%

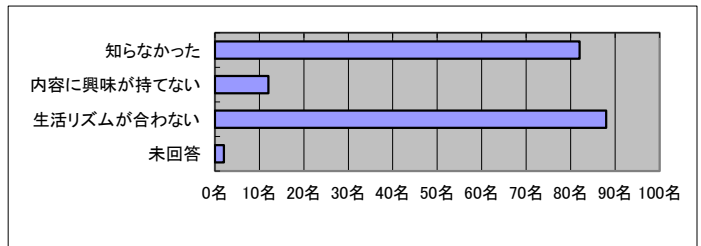
※比率は視聴したことがある114名に対する率



【問19】視聴したことがない理由

	人数	比率
知らなかった	82名	44.6%
内容に興味を持ってない	12名	6.5%
生活リズムが合わない	88名	47.8%
未回答	2名	1.1%

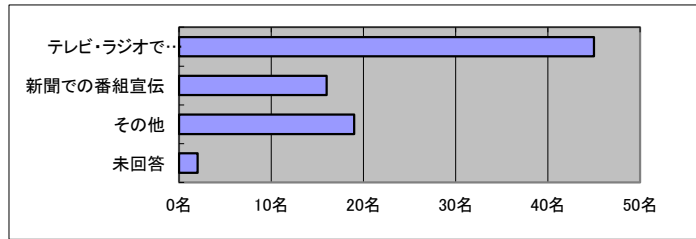
※各回答の比率は視聴したことがない184名に対する率



【問20】番組を知っていただくために有効なこと

	人数	比率
テレビ・ラジオでの番組宣伝	45名	54.9%
新聞での番組宣伝	16名	19.5%
その他	19名	23.2%
未回答	2名	2.4%

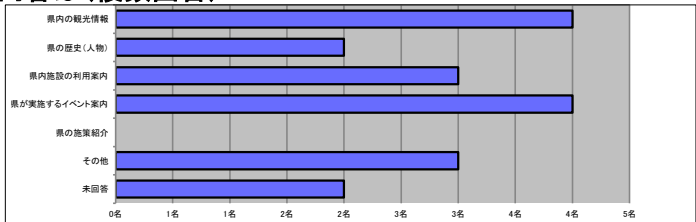
※比率は知らなかった82名に対する率



【問21】内容に興味を持たない方が興味を持つ内容は(複数回答)

	人数	比率
県内の観光情報	4名	33.3%
県の歴史(人物)	2名	16.7%
県内施設の利用案内	3名	25.0%
県が実施するイベント案内	4名	33.3%
県の施策紹介	0名	0.0%
その他	3名	25.0%
未回答	2名	16.7%

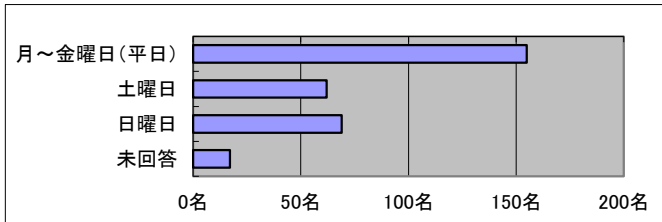
※比率は内容に興味を持たない12名に対する率



【問22】番組の放送日はどの日が良いですか

	人数	比率
月～金曜日(平日)	155名	51.2%
土曜日	62名	20.5%
日曜日	69名	22.8%
未回答	17名	5.6%

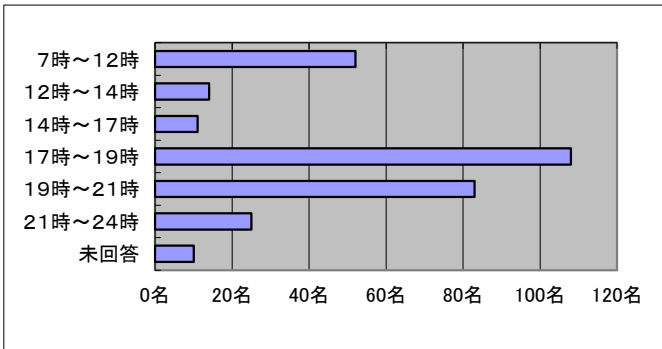
※比率は全回答者303名に対する率



【問23】放送時間帯はどの時間帯が良いですか

	人数	比率
7時～12時	52名	17.2%
12時～14時	14名	4.6%
14時～17時	11名	3.6%
17時～19時	108名	35.6%
19時～21時	83名	27.4%
21時～24時	25名	8.3%
未回答	10名	3.3%

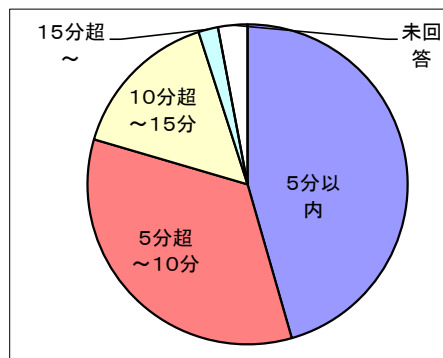
※比率は全回答者303名に対する率



【問24】放送時間の長さはどの位が良いですか

	人数	比率
5分以内	138名	45.5%
5分超～10分	103名	34.0%
10分超～15分	47名	15.5%
15分超～	6名	2.0%
未回答	9名	3.0%

※比率は全回答者303名に対する率

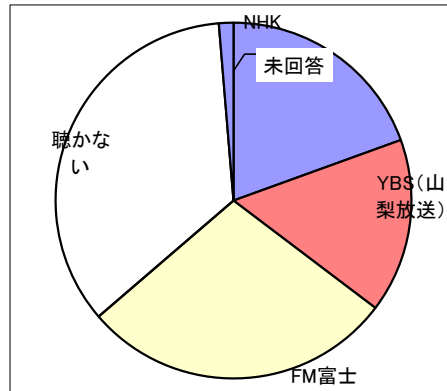


◇ラジオ広報番組について

【問25】よく聴くラジオ放送局はどこですか

	人数	比率
NHK	59名	19.5%
YBS(山梨放送)	48名	15.8%
FM富士	86名	28.4%
聴かない	106名	35.0%
未回答	4名	1.3%

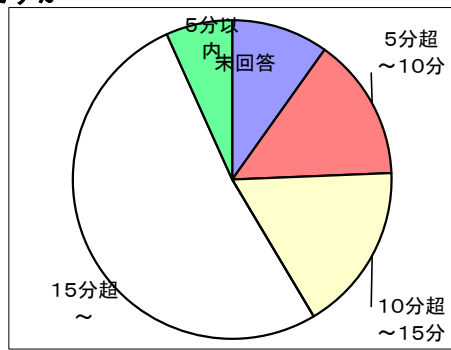
※比率は全回答者303名に対する率



【問26】一日に聴くラジオの時間の長さはどれくらいですか

	人数	比率
5分以内	19名	9.8%
5分超～10分	28名	14.5%
10分超～15分	33名	17.1%
15分超～	100名	51.8%
未回答	13名	6.7%

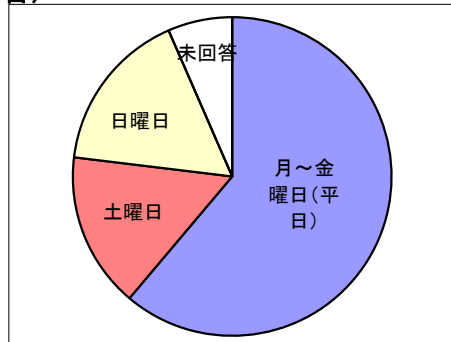
※比率は「ラジオを聴く」回答者193名に対する率



【問27】ラジオをよく聴くのはどの曜日ですか(複数回答)

	人数	比率
月～金曜日(平日)	159名	82.4%
土曜日	41名	21.2%
日曜日	43名	22.3%
未回答	17名	8.8%

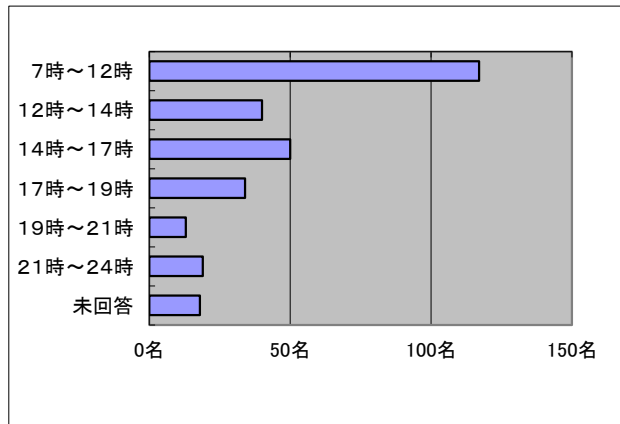
※比率は「ラジオを聴く」回答者193名に対する率



【問28】ラジオを聴くのはどの時間帯ですか(複数回答)

	人数	比率
7時～12時	117名	60.6%
12時～14時	40名	20.7%
14時～17時	50名	25.9%
17時～19時	34名	17.6%
19時～21時	13名	6.7%
21時～24時	19名	9.8%
未回答	18名	9.3%

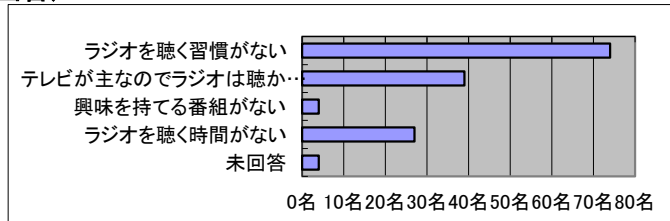
※比率は「ラジオを聴く」回答者193名に対する率



【問29】ラジオを聴かない理由は何ですか(複数回答)

	人数	比率
ラジオを聴く習慣がない	74名	69.8%
テレビが主なのでラジオは聴かない	39名	36.8%
興味を持てる番組がない	4名	3.8%
ラジオを聴く時間がない	27名	25.5%
未回答	4名	3.8%

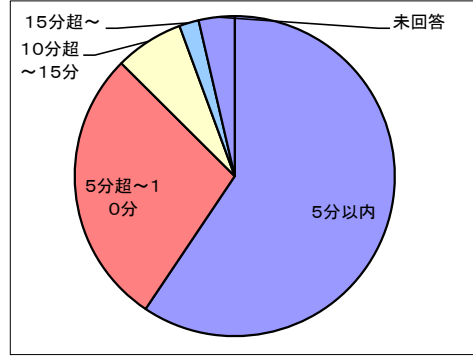
※比率は「ラジオを聴かない」回答者106名に対する率



【問30】ラジオ広報番組の長さはどれくらいが良いですか

	人数	比率
5分以内	180名	59.4%
5分超～10分	85名	28.1%
10分超～15分	21名	6.9%
15分超～	6名	2.0%
未回答	11名	3.6%

※比率は全回答者303名に対する率

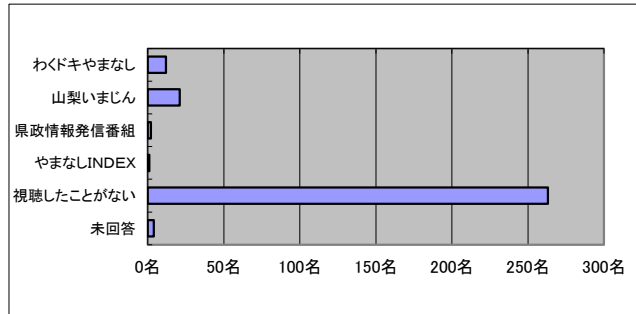


◇広報番組の動画配信について

【問31】視聴したことがある広報番組WEB動画はどれですか(複数回答)

	人数	比率
わくドキやまなし	12名	4.0%
山梨いまじん	21名	6.9%
県政情報発信番組	2名	0.7%
やまなしINDEX	1名	0.3%
視聴したことがない	263名	86.8%
未回答	4名	1.3%

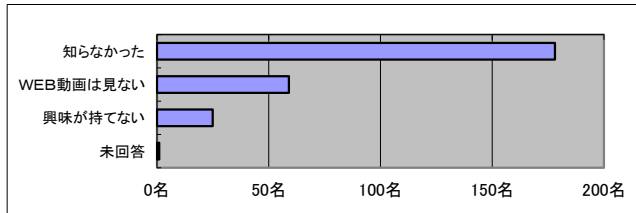
※比率は全回答者303名に対する率



【問32】WEB動画を視聴したことがない方の理由

	人数	比率
知らなかった	178名	67.7%
WEB動画は見ない	59名	22.4%
興味が持てない	25名	9.5%
未回答	1名	0.4%

※比率は「視聴したことがない」の回答者263名に対する率

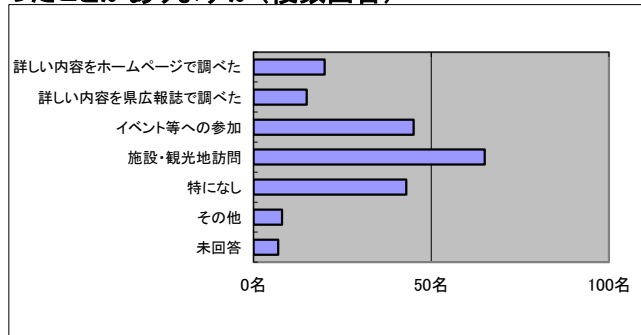


◇県の広報番組全般

【問33】県政番組の視聴が実際の行動につながったことがありますか(複数回答)

	人数	比率
詳しい内容をホームページで調べた	20名	17.5%
詳しい内容を県広報誌で調べた	15名	13.2%
イベント等への参加	45名	39.5%
施設・観光地訪問	65名	57.0%
特になし	43名	37.7%
その他	8名	7.0%
未回答	7名	6.1%

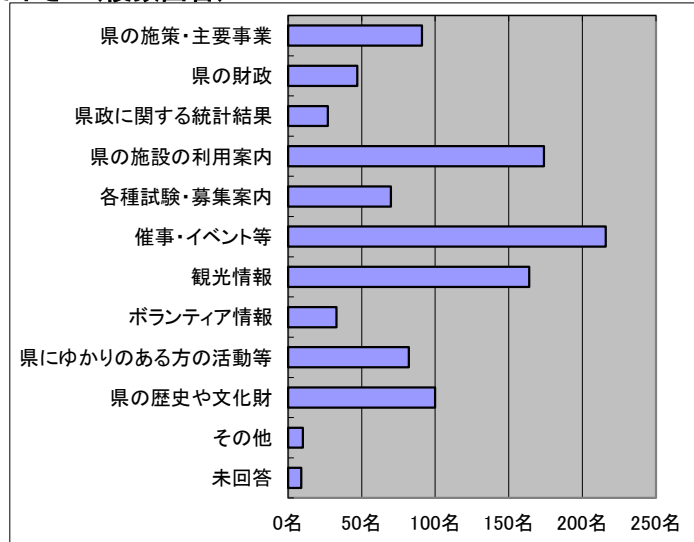
※比率は「視聴したことがある」回答者114名に対する率



【問34】県の情報として特に得たいものを教えて下さい(複数回答)

	人数	比率
県の施策・主要事業	91名	30.0%
県の財政	47名	15.5%
県政に関する統計結果	27名	8.9%
県の施設の利用案内	174名	57.4%
各種試験・募集案内	70名	23.1%
催事・イベント等	216名	71.3%
観光情報	164名	54.1%
ボランティア情報	33名	10.9%
県にゆかりのある方の活動等	82名	27.1%
県の歴史や文化財	100名	33.0%
その他	10名	3.3%
未回答	9名	3.0%

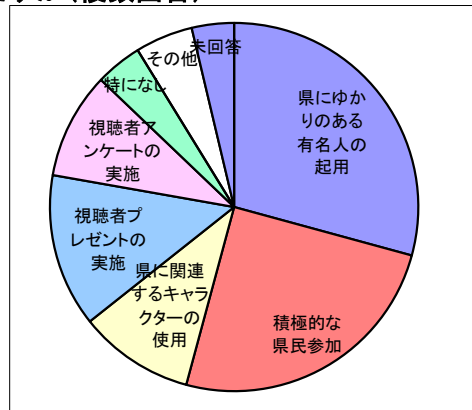
※比率は全回答者303名に対する率



【問36】県政番組を充実するために必要な事項は何ですか(複数回答)

	人数	比率
県にゆかりのある有名人の起用	150名	49.5%
積極的な県民参加	128名	42.2%
県に関連するキャラクターの使用	52名	17.2%
視聴者プレゼントの実施	69名	22.8%
視聴者アンケートの実施	48名	15.8%
特になし	21名	6.9%
その他	26名	8.6%
未回答	19名	6.3%

※比率は全回答者303名に対する率



◇自由既述(抜粋)

【問3】県からの情報入手手段(その他)

市からの配付(自治会が各家に配付する)
スマートフォン
入手していない
県からの情報が手に入っていない

【問4】「ふれあい」特集号を「まったく読んだことがない」理由

知らなかった
家に配付されたことがない
読んでいる時間がない
本当に全世帯に配付されていますか?
忙しいので
自治会に入っていない、市役所窓口にはほとんどいかない。

【問6】「ふれあい」特集号が「読みやすく分かりやすい」理由(その他)

イラストもかわいく入っていてよく分かる
見出しが的確で拾い読みしやすい
著名人に興味を引かれる
プレゼントがある。イベント情報がわかりやすい
写真が多いのが良い
色の使い方が良いと思う

【問7】「ふれあい」特集号が「読みにくく分かりにくい」理由(その他)

46号では、県民に何を伝えようとしているのか不明。広報誌の使命を考えました。
もう少し文字サイズが大きい方が高齢者にやさしいと思う
ページをまたいだところがあり、文字数が多く読みにくい
カテゴリー別ではない
イベント中心で結構(それ以外は簡単に)。だいたい、こんなに立派に、お金をかけて印刷する必要があるのか。
記事にもう一段具体的な内容があると良い。たとえば、トップセールスの結果・手応え、さまざまな意見が出されました—どんな? など。限られた紙面で全て掲載するのが難しければ詳細が示されたwebサイトへのリンクを示すなど
スマホで見ると文字が小さい。

【問10】「ふれあい」月間号が「読みやすく分かりやすい」理由(その他)

掲載内容が簡潔で分かりやすい
イベントの表記が簡明で一覧性があり分かりやすい。
伝えようとするのがコンパクトにまとめられており、わかりやすい。広報誌は、とにかく項目が多くなりがちですが、コンパクトにまとめると読みやすい。
写真が多く、カラフルで興味をひく。
コンパクトにできている。

【問11】「ふれあい」月間号が「読みにくく分かりにくい」理由(その他)

カテゴリー別ではない
大きい特集は読みやすいが、それ以外は文字だしレイアウトが小さく、読みにくい。情報が多すぎる。
右側の表現が読みづらくてわかりにくい
ホームページが利用できない人への対応、色々な開催場所の地図があればもっと良い。

【問12】購読している新聞(その他)

日本経済新聞(15件)、報知新聞、日刊スポーツ、東京スポーツ、全国農業新聞

【問14】「山梨てくてく」を通じて県外に発信すべきと思う情報

富士山やその周辺

山、登山、山梨百名山

水、ミネラルウォーター

温泉

観光

自然

特産品

住みやすさ

おいしい物・店

イベント情報

フルーツ

ワイン

大村智さん

山梨の食文化

美術館収蔵の作品

富士山以外の観光名所

リニア実験線

宝石加工

農業(果樹、野菜)の魅力

武田信玄

山梨出身者企業

歴史的建造物

田舎の良さ

歴史、方言、冠婚葬祭における風習

歴史の中で活躍した人物の故郷などの紹介など

子育てをしやすい環境をアピール

吉田のうどん

穴場スポット(パワースポット)

内容がいつもだいたい決まったようなもの(ワイン、宝石、富士山)なので、もっと外のものにも目を向けてほしい

【問17】番組が面白い点

わくだキ 内容が色々なジャンルがあつて楽しめる。
短い時間だが今、県が行っている施策など興味深い
山梨に住んでいるのに知らない事が多く、ためになる。
県内ニュース時間、家族が夕食の為に集まり見えています。2～3分の話題に興味を持つ。
身近な話題で関心が持てた。
行政は今何を重点に施策しているかを普段新聞など見ていない人に広報することが良い事だと思う。
老人にも判断できる。
身近な内容をコンパクトにまとまっております興味深かった。
生活にかかわる施策が紹介されている点
山梨に住みながらまだ知らない事、場所などの情報が分かりやすく放送されているところ。
短時間に県の施策が分かり易く表現されていた。
山梨の今のトピックスのようなものがわかって良い。
今気になっている情報をわかりやすく紹介してくれるので。
面白いというか県内での出来事お知らせ等分かりやすく話しているので5分間くらい良いと思う。
アナウンサーががんばって紹介している姿が「山梨のよさ」を上手に伝えている。
季節にあった話題を取り上げていていいと思う。
生活に近い視点でのテーマの選定が多く、興味を持って見られるので。

いまじん 老若男女を問わずこの様に活躍している人がいるのはとても嬉しく頼もしい。
いろいろな職種の人々の活躍がわかって面白い。
山梨で頑張っている人を知る事ができて、山梨も”いいところあるな”と思えた。
山梨に住んでいるのに知らない事が多く、ためになる。
県内で前向きに生きている方々を紹介して頂いており、見ていて明るい気持ちになります。
県内ニュース時間、家族が夕食の為に集まり見えています。2～3分の話題に興味を持つ。
地域で活躍している方々を紹介して頂き、又その事業等の内容を知ることができる。
やはり「人」は面白いです。これからも山梨で活躍する人たちをどんどん紹介してってください。
短い時間の割に内容が良い。
身近な人が主役で、自分もいつかできるかも・・・.と思ってしまう。

NNS 町の事が色々情報発信しているので面白いと思う。
山梨各地の見どころを良くアピールしている所
北杜ニュースをよく見えています。
面白いと言うより、県政の様子が少し分かり興味深いです。
県内で、なにかできたとか、県内にこのような人がいるんだとか。
あまりみませんが、県の考えが分かり短時間の中で見やすくなっているの。
山梨県の事がよくわかる。

INDEX 山梨県にまつわるウンチク等、知らない事が多く「へーそうなんだ」と知る事がおもしろい。
時々の話題が豊富でおもしろい。
県内で、なにかできたとか、県内にこのような人がいるんだとか。
山梨のあまり知られていない風景を楽しませてくれる。時間があつたら友人と行きたいと思った。
耳からの情報が取り入れやすい。やまなしについて分かる。
文化的なイベントの紹介が多く、実際に施設に訪れるきっかけになるの。

【問18】番組改善点

わくだキ ニュースの後、次の番組までの間でなんとなく見てはいるけれど印象には残っていない。

いまじん 印象に残らない
ちょっとかたくなる番組と思うので、もっと若い人が見やすい番組にした方が良いと思う。
身近な人物が出演出来れば、興味が出ます

NNS 印象に残らない
あまり自分の生活と関わりがないから

INDEX ちょっとかたくなる番組と思うので、もっと若い人が見やすい番組にした方が良いと思う。

【問20】広報番組を知ってもらうために有効な手段の「その他」

県内ニュースの後で流す。
YBSとUTYだけでなくNHKなどの局でも宣伝して欲しい。
市町村の広報に県のお知らせコーナーを常設する。
放送時間帯を変える。ながら視聴なので天気予報等必ず視聴すると思われるものの前後に放送した方が画面を意識して見ると思う。ニュースの途中での放送は気がつかない。
市の広報と一緒に知らせる。
広報誌ふれあいで番組紹介
その時間はまだ仕事から帰宅できていません…。だから時間帯の設定を工夫すると思います。
番組宣伝だけのチラシを(新聞や雑誌にのせても気がつかない)
SNSで番組の情報を発信する
話題性のある情報を発信する事。

【問21】広報番組の内容に興味を持たないと答えた方の興味を持てる内容の「その他」

イベント案内の、日を分かりやすくする。
内容と言うより、欲しい情報はテレビ・ラジオ以外で取ることができるので、必要性を感じていない。
ほとんど直接利用・活用することがないので、関心がない。

【問33】県政番組の視聴が実際の行動につながったかについて「その他」とした方の内容

イベントなどいろいろ知っても「ああそうか」でも遠くて参加などとうていできません。
県外の友人にすすめスポットを紹介した。

【問35】問34で県の情報として特に得たいものの具体的内容

高齢者でも楽しめるイベントやサークル活動の紹介とかウォーキングに良さそうな道など。
県内で行われるマルシェなどの情報。
料理教室やヨガ、英会話スクールなど習い事の情報。
例えば先日行われたラーメングランプリについて、パンフレットだけでは分からないラーメン情報等を詳しく情報として発信して欲しい
休日などに気軽にでかけられるようイベント情報などは知りたい。
子どもがいるので、子どもと一緒にいけそうな観光場所や施設、イベントは見ると思う。
生涯学習、各種教室の情報
産業、人口などの統計
各地域で行われている行事、祭り、講演会
フードバンク等の活動
県の教育施策
県の特産品の消費動向(ぶどう、もも、ワイン、ジュエリー等)
外国人の動向
地場誠意品・生産品の直売イベント・体験など
各地域にある温泉巡りキャンペーン
年度別の主要となる施策、事業の予算とそれに伴う収支、財政については年度別の税収及び国からの交付金の実体等
県内の催し事、お祭り等 何月何日とか。
税金の使い方
助成金に関するもの
県内での雇用、Uターン就職の情報、魅力を東京で働いている子供達に伝えたい。
スポーツのできる施設の利用
スーパーの特売情報
障害者への支援について
外国との交流
各種資格試験の開催場所、募集要項、対策講座等の情報等
各地域の歴史や言い伝え
美味しい食物、飲物情報
健康に関する豆知識
県内で頑張ってる人(団体)の紹介
求人情報
都市計画
県立博物館・美術館のイベント
大村先生の講演など
県職員の募集、採用試験詳細
活躍している山梨県出身者の現況情報

【問36】広報番組を充実させるために必要な事柄の「その他」の具体的内容

ニュース番組の時に流す。
旅番組などに取り上げてもらい、県のPRを発信したり、楽しいイベントの中に県の広報を入れるなどニュースでも取り上げてもらう。
知事が率先して県民に話しかける
県の隅々まで回って県民の声を聞く
決まった時間に毎日とか発進していれば、知りたい人が見たり聴いたりするようになるのではないだろうか。
特に有名人を起用することもないと思います。
また、ドタバタ、ワワァ騒ぐのも見る気が失せます。
放送の回数を増やす
インターネットの活用
県民インタビュー、県民アンケートの集計結果等を多くして、県政を身近に感じてもらうこと
やさしく分かり易い言葉で語る(書く)こと
小さな町村の身近な情報を拾い上げて欲しい
県の各セクションの補助レビュー
ターゲットをある程度しぼること
おじいちゃん、おばあちゃんにはこの時間帯にこの内容。若い人向けにはこの時間帯にインパクトの強いキャッチフレーズを繰り返し流す など
番組を見れば山梨の今を知る事ができるという内容になっていることが必要だと思います。
山梨県の顔(有名人でもキャラクターでも)を固定させることができれば番組を見る機会も増えるのではないかと思います。
広報番組より、ニュースやバラエティの中で案内したほうが、より多くの人に伝わるかもしれません。
まだまだ知られていない山梨県の小さな魅力がたくさんあるはずなので、それらを地道に掘り起こしていくこと。多少的外れでも構わないので、自由に幅広くやってみると面白いと思います。

広報誌や広報全般に対する意見

情報が多すぎて、県の情報まで気が回らず申し訳ない。良く分からないが、目立つ(気を引く)ポイントがあったらと思う。

山梨は東京に近くて果物もおいしいし災害も少ないので、とても住みやすい所と思う。
私の周りにも定年後山梨に移り住む人が何人かいる。広報でもこの様な事もアピールしもっと大勢が山梨に移り住む様PRしたら良い。
デザインや特集する内容はとても興味をもてると思いました。

広報内容は盛りだくさん掲載されているので、山梨にいてこんな事・こんな所もあるんだと知らない事・所ばかりなのでびっくりした。

今回のアンケートをきっかけに、県の広報番組等すすんで視聴しようと思った。
行ったことのないお店やイベントなどの情報が知れて、行ってみようかなと思うことがあるので楽しみにしている。

子ども連れなので、割引券とかあると嬉しい。

広報紙は文字を大きく、写真等を多く使用し、簡潔に内容を分かりやすくして欲しい。

広報番組の時間が生活の動きと合っていない為、見る事が無い。

広報誌や番組には予算がかかる。それは県民の税金。年齢層や広報誌／番組を必要とする人も色々。全てに同じ広報活動をするのではなく、予算や手段の送別や使い分けは必要だと思う。

通勤時間帯にラジオで流すとか、内容を見たくなる広報誌名に変更する等がよいのでは。「ふれあい」という名前はあまり魅力を感じないので、中はオールカラーで手に取ってよみたくなる感じ。せっかく立派に造っているので、沢山の県民に楽しみにされるものにして欲しい。

私が生まれ育った山梨県。今は子育て真っ最中です。なかなか子どもたちと出かけることもありませんが、やはり新聞を読んで、今、山梨ってこんな場所でこのようなイベントをしているんだ~と思うことはよくあります。私は新聞を通して情報を得ますが、テレビ、ラジオ、人が集まるデパート等いろいろな所で山梨の魅力を伝えて欲しいと思います。山梨県がこれからもっと県外の人に足を運んでもらえるように観光の地として活性化して欲しいと思います。

ふれあい月刊号はその存在を知りませんでした。他の広告と一緒になくなってしまっていて意識していなかったのだと思います。内容も充実しているものなので、多くの方にとって知られると良いと思います。また7時前はまだテレビを見ることのできる時間ではないので(家族構成にもよりますが)もう少し贈らせるか、土日に放送すると多くの方が見られると思います。

今まであまり広報誌や県政についての色々な所で発信している事を知らなかった。モニターになった事で関心が出てきたので色々な人たちにモニターになってもらう事は良いことだと思いました。

活動を知らせる方法について、もう少し早めに、1度切りではなく何回か紹介して欲しいと思う。

テレビ番組地域から見られないので、広報紙が主な情報源となってしまいます。県中心部のみならず地方部の情報も取り入れて欲しい。

その人それぞれ色々あると思いますが、私自身は必要なものだけの報告等のみで十分だと思う方なので特にありません。あまり広報番組等はみない方です。

ふれあい特集号(年四回)についてどちらとも言えないと回答しました(問5)。今回同封されていた広報紙は県内の情報(1ヶ月の)、山梨でてくは県外へのアピールの為の情報紙と、目的がある程度ははっきりしていますが、特集号については内容は良いとは思いますが目的がはっきりしていないためです。自分の中では、特集号があれば見ますが特になくても問題ない気がします。ある程度の目的を持った内容で発行する方が良いと思います。

子どもがいて、ずっとアニメなのでなかなか見たり聞いたりできませんが、育児が落ち着いたら情報に耳をかたむけたいです。

一般に、県の広報誌を積極的に読もうとする方は少ないと思います。①何かの折に目に触れて読む②特に知りたいことがあって読むぐらいだと思います。

一方市町村の広報紙は①ゴミの収集日を知るため②子どもの予防注射や健康診断の実施日を知るため③公民館等での行事予定等が載っているの等、これらを観る際に目に触れた記事等が読まれると思います。

県の広報紙にも「知っていたら便利」「知っていれば得をする」など載せることにより、広報紙への関心が湧くのではないかと思います。

例 県営住宅の空き室情報、県立美術館のイベント情報、国の制度の解説

「山梨県広報誌」と通称「ふれあい」とが私にとっては連動していないことから、見落としやすい。

12月号として山日新聞に掲載されたものは、「ふれあい」と大きな活字で見出しはありましたが、山梨県の広報誌であることが直ちに分からなかったため、新聞記事の一部だと勘違いして見落とししてしまいました。市町村の場合は、毎回、冊子で自治会を通して各戸配付となるため、見過ごしや見落としや少ないと思いますが。

山梨県の広報誌は「山梨県広報誌」と題した方がわかりやすいと感じました。

てくてくについて

山梨のワイン 全般について状況がよくわかりました。県外の方がこの冊子を読んで、このような体験ができると思いつつ山梨を訪れた際に、冊子で見た、読んだのと同様の体験ができれば、感激もひとしおのことと思います。

観光パンフレットや情報誌をもとにしてその地を訪れても、なかなかパンフレットに載っているような体験を得られず、期待外れが多いのが常ではないでしょうか。

「てくてく」に紹介していることが、どうしたら体験出来るのかを整えることが必要かと思いました。

山梨県は、過日「ワインツーリズム」を実施しましたが、参加できる方は、日程等の都合がつく方だけではないでしょうか。いつ訪れても体験できるようになれば、来県された方の満足度は格段に高まるものと思います。

現在の社会においては夫婦共働きがほとんどで高齢者においても広報はじめ行政等からの文書も多く全てに目を通すことも困難だと思います。

行政に携わる人たちも地域に帰り自治会活動等に積極的に参加し皆さんが何を考え何を行政に望んでいるか知ることが必要だと思います。

パソコンの操作ができる人は良いが、出来ない人、パソコンすらない人もいるのでメールや動画等見れない人もいるのでは。

いろいろな人に視聴してもらうためにはそのような番組があるということを知らせる必要があると思います。実際、私も知らないものが多くあったので。新聞をとっていない家も多いと思うので、他の方法でも知らせていくべきだと思います。

ゆっくりテレビを見たりラジオを聴いたりする時間があまりないので、夕食時に軽く見られるような短めの広報番組があると良い。

平日の午後何時から。とか毎日時間が決まっていたら忘れずに気軽に見られるかもしれないです。

テレビを見ない人が増えているので、ネットの検索でバーが出たりするとちょっと見て見ようかなあと思うかもしれませんが。山梨で検索すると出るとか。

ふるさとのために協力する気持ちはあるがあまり関心はない。

広報紙などの文字が小さくて読みにくい。

ふれあいのレイアウト、てくてくの洗練さに感動しました。今まで何となく見ていた広報誌、これからは意識して拝見させていただこうと思いました。

天気予報の前後の時間帯なら見逃すことが減少すると思われる。

大村智名誉教授の山梨に寄せる思い等特集を組んで欲しい。

スポーツやボランティアなどで沢山の方々が活躍されている様子が良く分かり、地元山梨に居ながら知らない事が多すぎることに痛感しています。

山梨の良い所と多くの人たちに発信していける様、日々努力していく事が大切ですね。

子どもにも理解できるように、楽しく、平易な言葉で話して欲しい。職員の説明では限界がある。

広報紙は年毎に良くなっていると思います。

山梨に住んでいる人達、歴史、情報などが色々わかっておもしろいです。

「てくてく」は駅にあるのですか？初めて見ました。県内にももっと配付したらいいのに。

広報紙に関してはもっと表紙に魅力ある見出しを表記したり山梨出身の方を掲載する。

広報番組等については、時間帯や内容などの充実が大切だと思います。

休日の午前中か夕食時放送やプレゼント等があると良いと思います。

若い世代の活躍を沢山取り上げて欲しい。県内の大学に焦点をあてて魅力を発信してみたい。

現在の広報活動で特に問題はないと思います。ただ以前の雪害のとき、県のホームページで情報を得られなかったので、広報の際には災害時での情報がどのように得られるかを常に示して欲しいです。

最近夫婦で散歩しているのですが、緑が丘の上の方とか、近場の散歩、ゆかりの地を見ながらの1~2時間のコースなどの(わかりやすい)地図などを教えてもらえると嬉しいです。

平日の夕方は働いていない主婦、パートの主婦が見れますが、フルタイムで働いている方も多いため、日曜などの夕方にも広報番組があれば良いと思います。

従来どおり「テーマ」を決めて紹介することが大事

→市町村別、農、工、商、etc.の特集(特にいわゆる陽の当たらないささいな伝統等の掲載)

山梨にゆかりのある有名なタレントを起用することで興味を持つ人が増える事でしょう。

ノーベル賞とった大村智先生や過去偉業を成し遂げた山梨の著名人、芸能人、有名人を取り上げた内容を掲載してもよいのではないかと思います。

「山梨いまじん」の様に「人」に焦点をあてて、「キーワード」を説明。その中で「山梨」について説明する。例えば、大村智先生を例とすると、「大村智」「ノーベル医学・生理学賞」「研究内容・苦労話」「蘆崎大村美術館」と缶単位4つのキーワードが出ます。人物の人柄、エピソード、山梨にゆかりのある話としていけば、山梨のPRになるのではないかと思います。

今年は町内の役員を受けております関係とても助かっております。月2回の公務、その他各家庭に配付等いち早く配っております。山梨が益々住みよい県になりますよう日頃の・・苦労を感謝致しております。

広報紙としての役割はできていると思います。

県の施策や事業などについて具体的に知りたい時は、こちらからそれにあう方法でアクセスするので、県民全体に流す情報としてはこんなところで十分ではないでしょうか。

HPへの連動性の活用

日々忙しくしているため、広報紙等をゆっくり見ている時間がありません。それでも見たいと思えるような、これからも魅力的な広報紙をお願いします。

イベント内容を増やして欲しい

(県外の人から見ると、山梨の人、と言うといやがられます)

広報番組に期待する事は、身近な出来事や生活に直結した内容

年代別で色々意見もあると思いますが、日々の生活で一番役立つ情報だと思います。

むずかしい用語は使用しない。わかりやすく。

全般的に分かり易かった。

テレビ等は短い時間なので見逃しやすいと思いました。

広報・PRは大事なことだと思う。

しかし、TV等どれくらいの税金で放映されていてどれくらいの方が見ているのか。自分として新聞や広報紙の方がありがたい。

広報番組はテレビをみないので本当は何とも言う立場にありません。

広報誌は配付されてくるので読んでいます。

反応が返ってくることは少ないでしょうが、やめてしまってお終いなので、続けていくしかないと思います。

反応が少ないのは平和な証拠かもしれません。